



Japanese Examined Patent Publication No. 47-40543

## **TOOL FOR CONTINUOUSLY TRANSFERRING AN ADHESIVE LAYER**

[Translation of Pertaining Portion Cited from Specification]

Cited from Detailed Description: The present invention is related to an utterly new tool for continuously transferring an adhesive layer applied on a tape in a strippable state onto an adhesive layer receiving area of an article.

**Claim 1:** A tool for continuously transferring an adhesive layer comprising a driving pulley and a driven pulley, said tool being constructed such that a feed reel with a wound tape on which an adhesive layer is transferably formed is connected to the driving pulley, while a taken-up reel is connected to the driven pulley, respectively, and that the tape is guided from the feed reel to the taken-up reel with an intermediate area thereof exposed out of a frame, whereby a transfer operation of the adhesive layer being carried out at this position.

RECEIVED

APR 11 2002

TC 1700

**BEST AVAILABLE COPY**

⑤ Int.-Cl. ⑥ 日本分類  
C 09 i 24 J 92

日本圆特許厅

⑪特許出願公告  
昭47-40543

⑩ 特 許 公 署 ⑪ 公告 昭和47年(1972)10月 13日

④公告 昭和47年(1972)10月 13日

光明の数 1

(全 2 頁)

A

### ②接着層を連続的に転移する装置

④等 願 昭42~10096  
⑤出 願 昭42(1967)2月28日  
⑥発明者 金田信一  
八尾市山本町北3の19  
⑦出願人 コクヨ株式会社  
大阪市東成区大今里本町6の18  
代理人 齋藤士 大内俊治

### 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示すもので、第1図は一方の側枠を外した状態の平面図、第2図は内部構成を示す側面図、第3図は回転機構部の拡大断面図、第4図は本案に使用するテープの部分平面図である。

## 発明の詳細な説明

本発明はテープに剝離自在に設けた接着層を、貼着物の貼着箇所に連続的に転移せしめる全く新規な装置に係るもので、これを以下図面について詳述すると、1は表裏両面をシリコン等の剝離容易剤で処理したテープ2の裏面に、感圧性の接着層3をスリット4により区分して形成せしめ、このテープ2を捲取した送出リール、5はテープのみを機き取る捲取りリール、6は主動ブーリー、7は主動ブーリー6に対し、倍数倍の回転をする従動ブーリーで、送出リール1と主動ブーリー6とはキーを設けた中空軸8により連結され、捲取りリール5と従動ブーリー7とは同様の中空軸9により連結されている。そしてこの中空軸8と9は2個の側枠から成る器枠10内に前後して配置され、側枠を緊結する1対のボルト軸11に回転自在に嵌合されている。器枠10は先端に向つて狭く形成され、その先端は開口12としてあり、この先端部に軸子13が回転自在に、且その周面一部が稍稍突出するよう設けてある。前配両ブーリー6と7はベルト14により連結され、好ましく主動ブ

1

一リ 6の周面を粗面としてベルト 1 4との摩擦を大にし、従動ブーリー 7の周面を比較的平滑にしてベルト 1 4との摩擦を小にして滑りが生ずるよう構成される。而して送出リール 1 からテープ 5 2を引出し、軸子 1 3及び必要に応じて中間ブーリー 1 5を介して捲取りリール 5に導き、之に結着する。即ち第 1 図の状態に構成する。次いで器枠 1 0を把持し、貼着物の貼着箇所に軸子 1 3を圧接し、之を矢印方向に移動せしめると、テープ 10は自動的に離り出され、接着層 3は貼着箇所に転移すると同時に、送出リール 1 は矢印方向に回転するから、之と同軸の主動ブーリー 6は、従動ブーリー 7を回転し、之と同軸の捲取りリール 5も回転する。よつて接着層 3が剥離された後のテープ 15 2が捲取りリール 5に巻き取られる。使用当初は、送出リール 1 に対し、捲取りリール 5の周速度が速いので、両ブーリー 6の直達比を実際の使用状態に合せて設定すればよく、又使用経過に従つて両リールの周速度は上記と逆になるので、回転伝動 20 機構に滑りが生ずるよう設計すればよい。更にリールの交換が出来るように中空軸に之を取り外し自在に運搬することが好ましい。

上記は本発明の一実施例を示したもので、この構成に限定されるものではない。例えば転子13に代え固定の弧状板でもよく、又両ブーリー7をベルト連結ではなく中間ダイドラーを使用してもよいことは勿論である。

本発明は紙上のように構成されているので、従来のように手によつて接着層の転移操作を行つて、いたものに比し、遙かに便利であると共に、乱りに接着層が手又は他の非接着物に転移する煩れなく保管並びに取扱いが極めて容易で、而も接着層が正確に線引き出来る等種々の効果を奏し実用上極めて有益な発明である。

### 3.3 特許請求の範囲

- 1 本文に詳記したように、主動ブーリーと従動ブーリーとを偏て、主動ブーリーには、転移可能

(2)

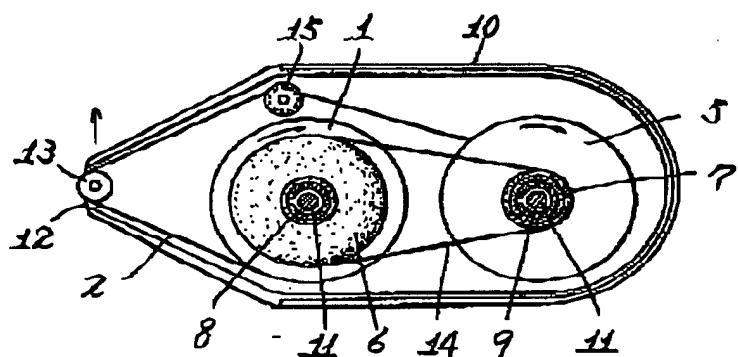
特公 昭47-40543

3

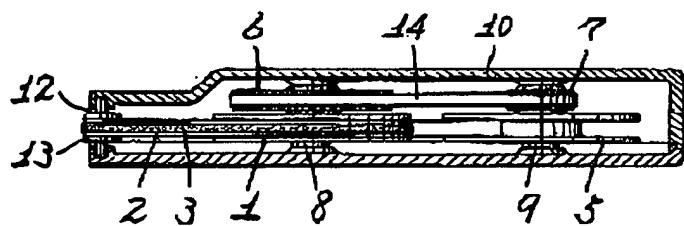
4

に接着層を形成したテープを摺取した送出リールを、従動ブーリーには摺取りリールを夫々連結し、テープを送出リールから導いて摺取りリールに導き、その途中を筒井外に露出せしめ、この位置で接着層の転移操作を行ふように構成したことを特徴とする接着層を連続的に転移する装置。

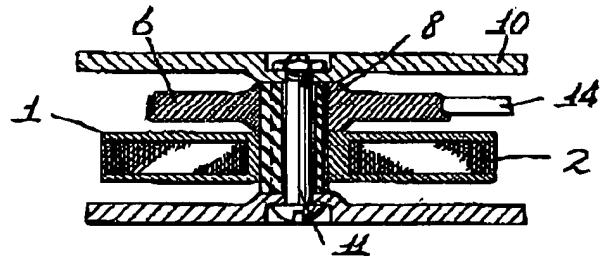
第1図



第2図



第3図



第4図



BEST AVAILABLE COPY

-152-